

## 第3回東浦町公共施設再配置計画策定作業部会意見対応表

No.	意見内容	対応
1	・目標削減率20%と言いながら、ロードマップで削減率16.7%となっており目標に達していないのはおかしい。	・現時点での効果試算条件では目標に達していないため、指摘を踏まえ、モデル事業や財源シミュレーションをもとに目標削減率を設定した上で、目標削減率をクリアできるロードマップを策定します。
2	・役場は既存施設よりも面積が増えるので、削減面積を0ではなくマイナスで計上すべき。	・効果試算上は、役場も他の複合施設と同様の試算方法で計上します。
3	・学校も、オープンスクール等になると面積が増える可能性が高い。20%削減に届かない可能性があるのではないか。	・複合化による面積削減も含め、複合施設全体としての面積とすることとします。
4	・削減率の目標は、財政シミュレーションなどの数字の裏付けを基に設定すべき。	・No.1参照。
5	・補助金や交付税など、国の負担による町の負担軽減も加味すべきではないか。	・No.6のご指摘を踏まえ、まずは最大限の数字を確認します。
6	・補助金等は今後制度が変わる可能性があるため、最大限厳しい数字で見るべきではないか。	・No.5参照。
7	・財政担当としていくらまでなら支払えるとは言えないが、今よりも10億円償還額が増える原案では払えない。また、歳入が増える見込みがないため、今後の公共施設更新のための財源捻出には、各課の予算を削るしかないと思う。経常収支比率や本町の財政規模から判断して、償還額は年間5億4千万円が限界だと思う。	・No.1参照。
8	・役場と消防の合築は、消防の活動空地も必要になるし、魅力的な施設にならない。にぎわいづくりや、文化センターの併設など、面白くなることを出来ないか。	・にぎわい機能はあくまで複合施設③で東浦中学校跡地に配置することとし、複合施設④は防災対応や指揮機能の充実を図ることとします。
9	・施設に占める学校面積が大きいので、教育委員会との綿密な打ち合わせが必要である。	—
10	・住民向けの施設面積を減らすのに役場を増やすのか。風当たりが強くなるのが想定され、また、役場はやり玉に上げられやすいため、8,500㎡より減らして、行政も努力する姿勢を見せることが必要と思われる。	・役場の面積は、過去の検討経緯があり議会でも説明している通りの役場面積を使用していますが、今後検討します。
11	・なかよし学園が、後になってやっぱり複合化施設に入れられない等となると困る。入れない可能性があるなら森岡地区拠点に入ることも考えられる。	・なかよし学園は全町施設であるため、複合施設③に入れています。
12	・複合施設③は、耐用年数より前に用途廃止になる施設がありもったいない。東浦中学校の移転を優先するのは分かるが、使えるものは使い続けた方が良い。	・複合施設③の整備時期を、1期、2期に分けることで既存施設を使えるまで使うこ

No.	意見内容	対応
		とを検討します。なお、移転により用途廃止される現東浦中学校校舎は、残存すると公共施設面積の縮小につながらないため除却します。